

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	美術館・歴史博物館活動の充実		担当部局庁	文化庁	作成責任者		
事業開始年度	平成9年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌 参事官(芸術文化担当) 山田素子	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化財保護法 第53条 美術品の美術館における公開の促進に関する法律		関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(第1期)(平成30年3月6日閣議決定)			
政策	12 文化芸術の振興		主要経費	その他の事項経費			
施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_4.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	<p>美術品の美術館における公開の促進に関する法律第一条においては、「美術品について登録制度を実施し、登録美術品の美術館における公開を促進することによって、国民の美術品を鑑賞する機会を拡大を図り、もって文化の発展に寄与する」とことされており、グローバル化や地域における文化拠点化の推進が求められている中、優れた美術品の公開促進が重要となっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、国民の優れた美術品を鑑賞する機会を提供することにより、美術館・博物館が文化振興の拠点としての役割を果たせるよう、その活動の充実を図る。また、その目的のため、美術館・博物館の学芸員等を対象に、専門人材の育成を目的とした研修を実施、支援する。</p> <p>併せて、芸術家の創作意欲を高め、美術界の発展に資するため、平成18年度までに文化庁が買い上げた美術作品(日本画、洋画、彫刻、工芸等)の活用方策として、旧文部省庁舎内での展示や、展示を希望する美術館等に貸し出すことにより、美術の普及並びに心豊かな国民生活の実現を図る。</p>						
現状・課題(5行程度以内)	<p>○登録美術品制度の実施 令和3年4月に登録基準の改正を行い、登録可能となる美術品の範囲を拡大したものの、申請数は増えていないことから、本制度の積極的な周知に取り組む必要がある。</p> <p>○「美術作品出合いの広場」事業 コロナ禍を経て、各地の美術館では貸借を伴う展示活動を活発化させていることから、文化庁所蔵の美術品についても積極的な貸与によって、鑑賞機会の拡大に努める必要がある。</p>						
事業概要(5行程度以内)	<p>○登録美術品制度の実施 国民が優れた美術品を鑑賞するため、国宝や重要文化財、世界文化の見地から貴重な美術品を国が登録し、登録した美術品を美術館において公開する。</p> <p>○「美術作品出合いの広場」事業 文化庁で所蔵している美術作品について、適正に保管するとともに、庁内での展示、展示を希望する美術館等への貸出等を行うなど、優れた美術作品が鑑賞できる機会を提供する。</p>						
事業概要URL	登録美術品制度の御案内 https://www.bunka.go.jp/seisaku/bijutsukan_hakubutsukan/torokubijutsuseido/						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	15.2	5.8	5.8	5.8	5.8
		執行額(G)	3.7	4	3	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	24%	69%	52%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	24%	69%	52%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	(項)	文化振興基盤整備費	-	-			
	(目)	諸謝金	1	1			
		職員旅費	1	1			
		委員等旅費	1	1			
		庁費	4	1			
		その他	5	5			
	計(A)	5.8	5.8				

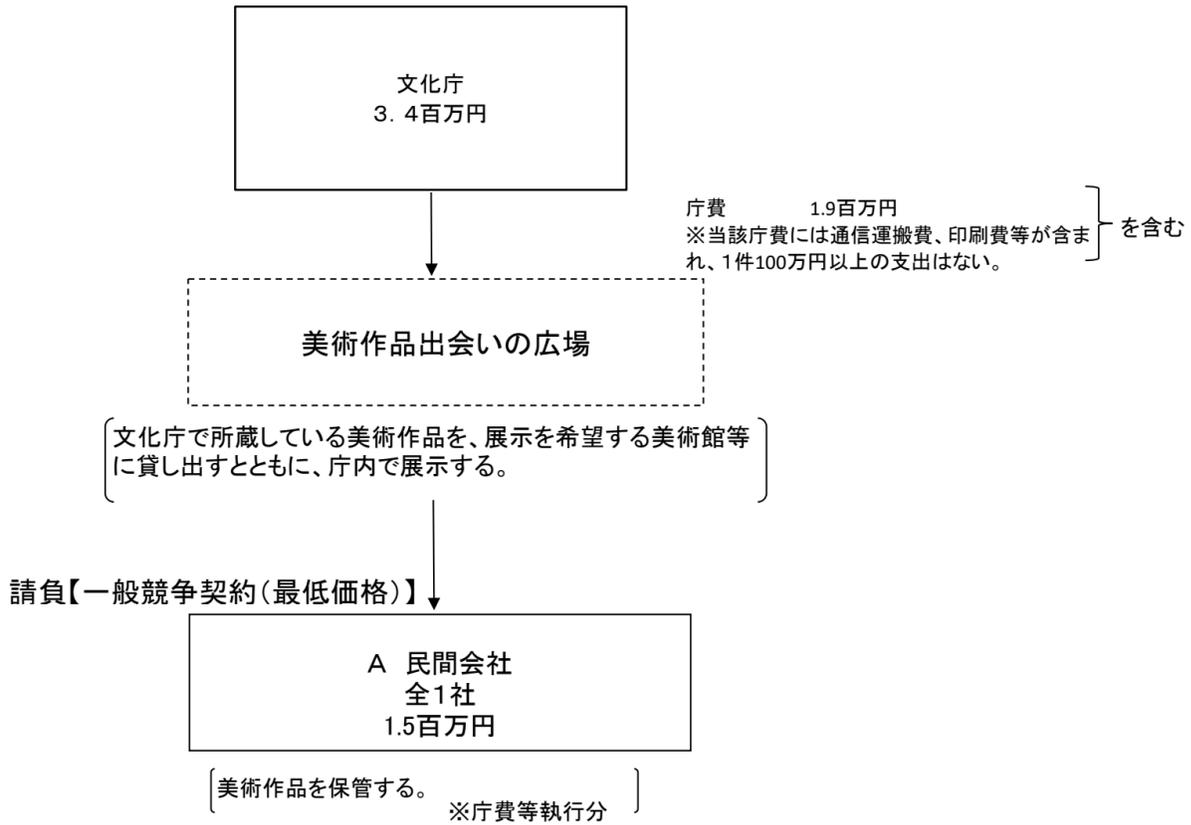
活動内容① (アクティビティ)	○登録美術品制度の実施 世界文化の見地から貴重な美術品を国が登録し、登録した美術品を美術館において公開する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	登録美術品制度を実施することで、国民の美術品を鑑賞する機会を拡大させる。	登録美術品制度累積登録美術品件数	活動実績	件	83	87	87	-	-	
			当初見込み	件	84	84	87	89	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本制度の根拠となる「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」(平成10年法律第99号)第1条において <u>美術品について登録制度を実施し</u> > 活動目標(アウトプット) <u>登録美術品の美術館における公開を促進することによって国民の美術品を鑑賞する機会を拡大を図り</u> > 成果目標(短期アウトカム) <u>もって文化の発展に寄与することを目的とする。</u> と定められており、このうち定量的な成果指標を掲げることができるものとして、公開実績の割合を短期アウトカムとした。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	登録美術品の公開契約美術館における公開実績の達成割合を80%以上にする。	毎年度の公開実績件数／ 毎年度の公開計画件数の割合	成果実績	%	94	98	100	-		
			目標値	%	80	80	80	-		
			達成度	%	117.5	122.5	125	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「公開等計画届出書」「公開等状況報告書」(ともに「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第8条の規定によるもの)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本制度の根拠となる「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」(平成10年法律第99号)第1条において <u>美術品について登録制度を実施し</u> > 活動目標(アウトプット) <u>登録美術品の美術館における公開を促進することによって国民の美術品を鑑賞する機会を拡大を図り</u> > 成果目標(短期アウトカム) <u>もって文化の発展に寄与することを目的とする。</u> > 成果目標(長期アウトカム) と定められており、このうち定量的な成果指標を掲げることができるものとして、本制度の利用に伴う物納(国有化)件数を長期アウトカムとした。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	登録美術品の所有者において相続が発生した場合、物納(国有化)によって国民共有の財産とし、文化の発展に寄与する。	相続が生じた件数／物納(国有化)に至った件数の割合	成果実績	%	-	-	100	-		
			目標値	%	100	100	100	-		
			達成度	%	-	-	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	実績値									
アウトカム設定についての説明										
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										

活動内容② (アクティビティ)		○「美術作品出合いの広場」事業 文化庁で所蔵している美術作品について、適正に保管、展示、展示を希望する美術館等への貸出等を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		文化庁所蔵作品の展示・貸出等点数の増加。	文化庁所蔵作品の展示・貸出等点数(延べ数)	活動実績	点	36	33	36	36	-
				当初見込み	点	20	25	30	35	-
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		本事業の目的は、文化庁所蔵作品を適切に保管することはもちろん、展示や美術館への貸出を行うことで利活用し、作品の鑑賞機会を提供することにあるため、継続を含め、作品の借受等を希望する美術館の数の増加を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		文化庁所蔵作品を活用したい旨申し出があった美術館の数の増加。	文化庁所蔵作品を活用したいとの申し出があった美術館の数	成果実績	館	6	7	10	-	
				目標値	館	6	7	8	-	
				達成度	%	100	100	125	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実績値								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		文化庁所蔵作品の展示や美術館への貸出等を継続的に行うことにより、文化庁所蔵作品の多くが利活用され、作品の鑑賞機会の提供という目的の達成につながることから、所蔵作品の利活用率の上昇を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		文化庁所蔵作品のうち、展示・貸出等によって利活用された作品の割合の上昇	文化庁所蔵作品のうち、展示・貸出等によって利活用された作品の割合	成果実績	%	49.2	52.4	60.3	-	
				目標値	%	-	-	55.5	-	
				達成度	%	-	-	108.6	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実績値								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
名称		-								
URL		-								
該当箇所		-								

令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

○「美術作品出会うの広場」事業

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	美術作品の保管	1.5			
計		1.5	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	寺田倉庫株式会社	8010701006378	美術作品保管業務	1.5	一般競争契約 (最低価格)	1	100%	-